

二〇一五年度 横浜英和女学院中学校入学試験問題

国

語

注意 答えは、すべて解答用紙のきめられた場所に書きなさい。

(A日程 二月一日実施)

一

次の1～5の――線部のカタカナは漢字に、漢字は読みをひらがなに直しなさい。

- 1 シセイをただす
- 2 借金をセイサンする
- 3 トウトイ命
- 4 人類の存亡
- 5 易しい問題

二

次の1～5の四字熟語が（ ）の中の意味になるように、□にあてはまる漢字を書きなさい。

- 1 □ 中模索 (手がかりがないまま、あてもなくさぐり求めること)
- 2 □ 機応変 (状況に応じて適した方法や手段をとること)
- 3 他山之□ (自分にとってかえって参考になるような、他人の悪例)
- 4 大□晩成 (すぐれた人物はあとになってりっぱになること)
- 5 □ 風満帆 (物事が好都合に調子よく運ぶこと)

三

次の1～5のA～エの文の——線部の語には、はたらきが異なるものが一つだけ含まれている。それぞれ記号で答えなさい。

- 1 A. 自転車も通れない。
ウ. 彼には話しかけられない。
 - 2 A. 彼はとても悲しそうだ。
ウ. 明日は晴れるそうだ。
 - 3 A. アイスクリームが食べたい。
ウ. あのお店はプリンがおいしいそうだ。
 - 4 A. 最近はやりの髪型である。
ウ. 幼い頃に泳いでいたのはこの川である。
 - 5 A. 母はあいまいな返事をした。
ウ. とても大きないちごを食べた。
- イ. 川には水がない。
 - エ. 今日は月が見えない。
 - イ. 彼女の家は遠いそうだ。
 - エ. この本は人気があるそうだ。
 - イ. 人にどう言われようが、気にならない。
 - エ. 台風で川の水があふれてしまった。
 - イ. 彼女はいつも親切である。
 - エ. あれは私の買ったスカートである。
 - イ. 今日はさわやかな朝だ。
 - エ. 彼はスポーツに熱心な人である。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

チェスター・リーブスさんというアメリカの都市文化史研究家があります。都市文化史というと、ちょっとわかりにくいですが、都市の歴史的建築物や、歴史的なモニュメントなどの保全に関する研究をしている大学の先生です。リーブさんは東京藝術大学の客員教授として日本で数年間生活したとき、日本のママチャリとママチャリ文化にいたく感動しました。そして、一〇年後にふたたび東京大学に客員教授として招聘された際には、ママチャリ・ゼミという研究会をつくり、積極的にママチャリの調査をしました。そして、その成果をもとに、二〇一一年末に『世界が賞賛した日本の町の秘密』(服部圭郎訳、洋泉社新書)という本を出版しました。リーブスさんが賞賛した「日本の町の秘密」とは何を隠そう、ママチャリと、そのママチャリが快適に使用できる日本の町の構造でした。

ママチャリのどこがそんなにすばらしいのでしょうか。リーブスさんはつぎのように書いています。

「ママチャリは、私がそれまでに乗っていたスポーツ自転車とはまったくちがった世界を教えてくださいました。それは、実践的で、地域性の高い、町内移動に適した自転車です。また、私は、通常、スポーツ自転車が備えていないママチャリの付属品があることを発見しました。それらは、このタイプの自転車を今日にいたるまで「完璧な乗り物」にさせています。まずはじめに、ママチャリの凹凸の多いタイヤは、歩道の段差を楽に上れますし、道路にあるでこぼこなどを平気でやり過ごせます。(中略)

ほとんどのママチャリは買い物カゴを前に設置しています。買い物カゴには書類、食料、雑貨までを入れることができます。ほとんどのスポーツ自転車は、それらを有していません。もし、何かを運ぼうとすれば、快適ではないリュックサックを背負わなくてはならなかったり、高価なサドルの後ろにつけるバッグを購入したりしなくてはなりません。そうでなければ、より危険ですが、あなたが運ぼうとしている何かを片手で持って、もう片方の手でハンドルを操作しなけ

そして、多くのママチャリは、スポーツ自転車では追加入しなくてはついでこないものが多くの場合、ついていきます。それは、荷台にだいです。

さらにママチャリのすぐれた付属品としては、ほとんどのママチャリについてくる、濡れた道を走るときのために、タイヤにかぶさるように設けられた泥よけです。これがあるために、人々は、普段着はもちろんのこと、高価な洋服を着たままでもママチャリに乗ることができます。一方で、ほとんどのスポーツ自転車は、泥よけがついていないため、道が濡れていると、タイヤが水を乗り手にまき散らすことになります。

リープスさんのママチャリ賛美はまだまだつづきますが、これ以上は割愛わりあいさせていただきます。みなさんは、この感想を讀んでどう思いましたか。ずいぶんとおおげさだなあ、と思った人もいるかもしれません。一方で、そう言われるとそうかもしれない、と思った人もいるかもしれません。私も、リープスさんの本と出会うまでは、ママチャリがそんなにすぐれたものであるとは思っていませんでした。

私は小学校から中学校にかけて、アメリカのロスアンジェルスという都市で過ごしました。アメリカに着いてすぐ、親に自転車を手に入れたのですが、それは日本で私が乗っていた自転車にくらべると、はるかに乗り心地も操作性も劣つたものでした。

ママチャリは、ずいぶん便利で、このようなすぐれた自転車^⑤が安価で手に入る日本の都市においては、もつとこのママチャリを有効に活用するようなまちづくりがされるべきである、と私も強く思います。そして、それは自転車が重要な交通手段であるきみたちにとつても、望ましい環境であると思うのです。

なんだかママチャリと日本の都市に対して、誇らしげな気分になってきます。歩くのが大変になる環境がつくられれば、つくられるほど、自動車を利用できる人は自動車を利用するようになり、さらに歩行者はしいたげられることになります。若いきみたちは法律で自動車を運転できないので、こういう都市の環境はつまらないし、危険だし、おもしろくないですね。

こう言うと、いや、いまだけの辛抱で、そのうち自分たちも運転免許をとって自動車を運転できるようになるからいいや、と思う人もいるかもしれません。

⑦、若い感性が豊かなときに、それを育むような都市環境をもっていないことはたいへんもったいないことだし、残念なことだと思います。

⑧いま抱いている不満は、将来自動車を運転することで解消できる、と考えるのではなく、次世代の若い人たちが不満を抱かないように、いま、ちよつとどうにかしてやろう、と動くこともいいことなのではないかと思います。とはいえ、自転車を利用しやすい都市ってどんなものがわかりにくい読者もいるかと思っています。そこで、いくつか、自転車に乗りやすい、自転車が使いやすい都市を紹介しましょう。

デンマークのコペンハーゲンの郊外に、アルバーツラントという都市があります。人口は約三万人と少なく、面積は二平方キロメートルで、東京の品川区と同じくらいの広さです。ここは、徹底した自転車専用道路（歩行者は移動可）のネットワークを整備した都市として知られています。自転車道は、車道とも立交差しているので、この都市だと自動車を気にせずに、移動することができます。小学生も自転車通学が一般的で、小学校の前に駐輪場が設置されています。

私は中学時代、越境入学をしていました。片道三キロメートルの距離があつたので、友だちの家まで自転車で通い、そこに駐輪させてもらつて、そこから歩いて通学していたことがあります。おそらく、これは校則違反だつたと思われます。そのような後ろめたい経験をしたことがある私は、アルバーツラントの小学生が自転車で楽しげに通学しているのを見て、うらやましく思えました。この自転車専用道路の延長は一四〇キロメートルと、自動車道の七四キロメートルの二倍弱もあるのです。

日本でも最近、東京の亀戸などに自転車専用道路が整備されはじめていますが、わずか約一・四キロメートルと、アルバーツラントの一〇〇分の一です。彼我の差は大きいのです。

つぎに、ドイツの自転車都市を紹介しましょう。

ドイツの自転車都市といったら、ミュンスターで異論はないと思われます。ミュンスターは、ドイツ西部ノルトライン・ヴェストファーレン州にある人口二八万人の大学都市です。ここはドイツでもっとも自転車利用が普及している都市であり、自転車の利用を促進するためのさまざまな施策を実践しています。

その結果、ミュンスターの自転車の交通分担率は、ドイツのほかの都市にくらべて高くなっています。二〇〇七年時点の自転車の交通分担率は三八％。ドイツ平均は九％です。

⑩ミュンスターが自転車都市であることは、訪れるとすぐ理解できます。中央駅を出ると、すぐ前に全面がガラスでできたおしゃれな建物が建っています。これが自転車センターで、地下駐輪場であると同時に、自転車の修理などのサービスも提供されています。地下駐輪場は三三〇〇台の自転車を収容でき、ドイツ最大規模です。

中心市街地に向かうと、「プロムナード」と呼ばれる自転車道路があります。これは自転車のための幅四メートルの道路と、その両側に三メートルの並木およびベンチ、そして一・五メートルの歩道、さらに外側に並木が植栽されている緑の環状道路です。

これは、旧市街の城壁をこわしたあとにつくられたものです。ドイツの多くのまちは、敵から守るために、お城をとりかこむように城壁を設けていました。その後、多くの都市はこの城壁が不要になって、こわして広い環状道路を整備したのですが、ミュンスターは自動車がいつさい通れない自転車道路をかわりに整備したのです。ラッシュアワーには一五〇〇台の自転車が走行するそうです。なかなか壮観ですね。まさに自転車都市ミュンスターを象徴する空間です。自転車好きな人にはうらやましくなるような空間でしょう。

（服部圭郎『若者のためのまちづくり』）

*招聘……礼をつくして人をまねくこと。

*割愛……おしいが省略すること。

*越境……国境、県境など境界をこえること。

問一 ①「通常、スポーツ自転車が備えていないママチャリの付属品」とありますが、そのものとして適当でないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. かんたんに手が届くハンドル

イ. タイヤにかぶさるように設けられた泥よけ

ウ. 夜間走行のためのライト

エ. ペダルを逆に回して止めるブレーキ

問二 ②「それら」とありますが、「それら」が指すことばを本文から探し、ぬき出しなさい。

問三 ③ ③に入ることばを漢字一字で答えなさい。

問四 ④「リープスさんのママチャリ賛美」とありますが、リープスさんはママチャリをどのような乗り物であると考えていますか。本文から探し、二十五字以内でぬき出しなさい。(「や。や」は一字とする。)

問五 ⑤「望ましい環境」とありますが、これはどのような環境のことですか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. ママチャリが安価で手に入る環境

イ. ママチャリが有効活用できる環境

ウ. ママチャリによる事故がない環境

エ. ママチャリを使わなくてもよい環境

問六 ⑥「誇らしげな気分になってきます」とありますが、筆者はどうしてそのような気分になってくるのですか。説明しなさい。

問七 ⑦ ⑦に入ることばとして適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. そのうえ イ. そして ウ. しかし エ. あるいは

問八 ⑧「いま抱いている不満」とありますが、具体的にどのようなことですか。本文のことばを使って十五字以内で答えなさい。(「や。や」は一字とする。)

問九 ⑨「彼我の差」とありますが、これは何の差のことですか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 亀戸とアルバーツラントにおける自転車専用道路の長さの差
- イ. 亀戸とアルバーツラントにおける土地面積の差
- ウ. 亀戸とアルバーツラントにおける駐輪場の広さの差
- エ. 亀戸とアルバーツラントにおける歩行者の数の差

問十 ⑩「ミュンスターが自転車都市である」とありますが、どうしてそうにしているのですか。その理由となる一文を本文から探し、最初と最後の五字をぬき出しなさい。(「や。や」は一字とする。)

問十一 本文の内容に合うものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ママチャリは海外の国々で使われるようになり、その有効性から世界各国で賞賛されている。
- イ. 筆者は「ママチャリ文化は時代の流れに逆行しており、もつと自動車を使うべきだ」と訴えている。
- ウ. すでに日本はママチャリを有効活用できる完璧なまちづくりがなされている。
- エ. デンマークやドイツの方が日本よりも、自転車にとってやさしいまちづくりになっている。

五

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

車で五分ほどのところにある直樹の家に帰ってきたときには、家中もう真つ暗になっていた。お母さんは抗議の意思表示として、明かりをぜんぶ消して先に寝てしまったらしい。お父さんが犬を玄関から入れると、犬はよろよろと入ってくるや、タイル敷きの三和土のうえにたちまちべたりと身を伏せてしまった。

①「今夜はもう何もできないよ」とお父さんが言った。「明日の朝いちばんに、動物病院へ連れていこう。明日はぼくは、午後から出勤すればいい日だからね。それから、飼い主を探さなくっちゃなあ。首輪は付いていなかったけれど、けつこう人馴れしているようだし、こんな立派なジャーマン・シェパードだからなあ。もともとからの野良犬のはずはないと思うんだ」

「水をもつとやろうか」と直樹が言つて、ペットボトルを差し出した。

「いや……さつきずいぶん飲んだからね。もう、そつとしいてやった方がいい。さあ、ぼくらもう寝よう」

直樹は昼間もずっとベッドで寝転んで、うつらうつらしたりしていたから、その晩は床に入ってもなかなか寝つかなかった。あの犬、どこかで飼い主とはぐれちゃったのかなあ、きつと飼い主の人も心配しているだろうなあ。ちょっと様子を seen に、下に降りていつてみようかなあ……。そんなことをあれこれ思いめぐらしているうちに、いつの間にかことんと眠りに落ちてしまったらしい。階下で、「まあ、やつぱり連れてきちゃったのね！ あんなに言っておいたのに」というお母さんの、憤懣やるかたないといった叫び声がして、はつと目が覚めたときには、もうカーテンの隙間から明るい朝の光が射していた。

階段を駆け降りていってみると、お祖父さんが玄関の上がり框に腰を下ろし、犬の頭を撫でていた。お母さんは寝巻のままその傍らに腕組みして立ち、大きなため息をついている。

「こいつ、ずいぶん弱ってるなあ。おい、悦子、水と、それから何か、こいつが食べられそうなものを持っておいで」
とお祖父さんが③した声で言った。可愛くてたまらないように目を細めている。

「お父さん、うっかり手を出して、噛まれないようにしてちょうだいよ。狂犬病がうつたらどうするの——」
「大丈夫だよ」とお祖父さんは笑って、「ほら、ネロのドッグフードの残りがまだ取ってあったら？」

お母さんはぶつくさ言いながらも、言われた通り、ドッグフードをお湯でふやかしたものを持ってきた。犬が④立ち上がったとき、直樹たちは改めて少々たじたじとなった。トイプードルのネロを見慣れていた目からすると、この犬は本当にでかくて、狭い玄関がこいつの体だけでいっぱいになってしまったような感じさえする。犬は頭を下げて水を少し飲み、ドッグフードをひと口、ふた口食べたが、すぐに顔をそむけてまた床に蹲ってしまった。その頃にはもうお父さんも起きてきていた。

直樹たち親子が築四十年というこの古い木造の家で暮らしはじめて、もう一年ほどになる。もともとここはお母さんの実家だが、お母さんのお母さん（つまり直樹のお祖母さん）が亡くなって、お祖父さんがひとりきりになってしまったので、郊外のアパートで暮らしていた直樹一家がここに引っ越してきて、一緒に住むことになったのだ。そう大きな家ではないけれど、アパートよりはむろんずっと広いし、奥さんに死なれて心細くなっていたお祖父さんも、娘一家と一緒に暮らすのは大歓迎だった。生活の拠点を移す時点としては、直樹が小学校を卒業して中学に入るといふ、ちょうど好都合な時期に当たっていてもいた。

お母さんは犬嫌い、もともとこの飼ったネロにもいつかい触れようとせず、住みはじめてから半年経って、十六歳のネロが眠るように息を引き取ったときには、そりゃあ可哀そうだけれど、あたしはちよつと、せいせいしたわ、とさばさばした明るい声であっけらかんと言いつつ、他の三人が呆れ返り、何て薄情な——と腹を立てるといふひと幕もあつたものだ。そういうわけで、玄関に蹲っている大型犬の気配をひしひしと感じながらのこの日の朝食の

席には、⑦どこか陰悪な空気が立ちこめて、皆、黙りがちになった。そんな重苦しい朝食の後、お母さんは、

「あたしはパートに行かなくちゃ。帰りは夕方になりますからね。とにかくあれを何とかしてくださいよ。あたしは知りませんからね」と切り口上で言い残し、不機嫌な顔で出かけていった。

お母さんが出ていった後で、お父さんと直樹はまた犬を車に乗せ、ネロのかかりつけどった動物病院へ向かった。犬はお父さんが引つ張つてもなかなか立ち上がろうとしなかったが、直樹がしゃがみこんで、さ、立て、立つて車に乗れ、と静かに話しかけると、その言葉にすぐさま従順に従ったことに、お父さんはちよつと驚いた。

お父さんがもう一つ驚いたのは、病院の受付で、迷い犬を保護したんですね、じゃあもちろん、名前も年齢もわかりませんよね、と言われると、直樹がすぐ、

「名前はレオです。レオ」と打てば響くように答えたことだった。

「レオって……。それ、きみが付けた名前？」と受付のおねえさんがおかしそうな顔になって訊くと、直樹は、
「はい、そうです！」と澄ました顔で元氣良く答えた。

獣医の先生の診断は、たちの悪い食中毒だろうということだった。

「何か腐ったものでも食べたんでしょうねえ。食中毒ってのも、感染した細菌の種類によっていろいろでね。ちよつと下痢して、悪いものが出てしまえばそれでけろつと治ってしまうような軽いやつから、相当ひどい症状が出るやつまで……」

「これは、その重症の方でしょうかね」とお父さんが訊くと、

「そう、かなりの高熱が出てますしね。脱水症状になってるから、ともかくこれから点滴をします。あとは抗生物質の投与で菌を殺すしかない。もともと頑丈そうな犬だから、まあ大丈夫だろうとは思いますが……。ただ、この大きさの体形にしては、ずいぶん痩せてますねえ。栄養状態が非常に悪い。こここのところ、まともなものを食べていなかったんじゃない

いかな。体力が非常に落ちてきているみたいで、それがちよつと心配なんですよ。^{*けねんざい}解熱剤も少し出しましょう。本当は、熱が出ているのを人^{*じんいてき}為的に抑えない方がいいんですが、体がもたないようなことになっては元も子もない。とても苦しいでしょうしね。ジャーマン・シェパードは我慢^{*まんづよ}強い犬種だから、痛くても苦しくてもまったく表には出しませんが、こんな高熱が出てて苦しくないはずはない。

⑨

お父さんと直樹は目を合わせた。どうしよう？　ここで獣医さんに委ねてしまえば、自分たちの手を離れて一応ほつとするし、お母さんの気持ちも治まるだろう。しかし、窮屈^{*きゆうくつ}な檻^{わり}に入れられて……こんなふうに白衣の人たちがせわしく行き交っている病院の片隅^{*かたすみ}のケージのなかに閉じこめられて……そりゃあ、ちゃんと世話してはもらえるだろうけれど……。直樹は犬の顔を見た。犬は直樹の目を真^まっ直^すぐにじつと見返していた。この子はほんと一緒にいたいんだ、と直樹は直感した。

⑩「お父さん……」と言って直樹は黙ってしまった。

「入院させた方が、専門家に看護してもらえるし、この子のためにも……」とお父さんが迷うように言った。

「うん、でも……」直樹は俯^{うつむ}いてしまった。お父さんが頭を掻^かいて、考えている気配が伝わってきた。やがて、

「とりあえずうちに連れて帰って、様子を見ることにします」と心を決めたようにきっぱり言うお父さんの声が聞こえて、直樹の顔はぱつと明るくなった。

(松浦寿輝『川の花2』)

*三和土……セメントなどで固めた土間。

*上がり檻……家の上り口に設けた横木。

*人為的……人間が操作を加えること。

*憤懣……腹が立つてがまんができないこと。

*解熱剤……発熱した体温を下げる薬剤。

問一 ①「『今夜はもう何もできないよ』とありますが、何ができないのですか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 犬は体が弱っているので、動かすことができないということ。

イ. 夜遅いので、犬のために何かをすることはできないということ。

ウ. お母さんが寝てしまったので、相談することができないということ。

エ. 首輪をしていないので、飼い主を探すことはできないということ。

問二 ②「大きなため息をついている」とありますが、それはなぜですか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 狂犬病の危険のある犬を、お祖父さんが撫でていたから。

イ. 犬が嫌いで、犬を家に連れてきてほしくなかったから。

ウ. 犬の体の具合が悪そうなので、心配していたから。

エ. 半年前に亡くなったネロのことを思い出してしまったから。

問三 ③ ④ に入ることはとして適当なものを次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア. のんびり イ. しんみり ウ. ぐったり エ. のっそり オ. あっさり

問四 ⑤「直樹たちは改めて少々たじたじとなった。」とありますが、それはなぜですか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 犬が、予想以上に弱っていて具合が悪そうだということに、改めて気づいたから。
イ. お母さんが、文句を言いながらも犬のえさを持つてきてくれたことに、改めて気づいたから。
ウ. 犬が立ち上がってみると、体がとても大きいことに、改めて気づいたから。
エ. 玄関が、体の大きな犬に占領せんりようされてしまっていることに、改めて気づいたから。

問五 ⑥「薄情」の「情」は、ここでは「あたたかい感情」という意味で使用している。「情」を、これと同じ意味で使用している熟語を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 実情 イ. 表情 ウ. 情熱 エ. 同情

問六 ⑦「どこか険悪な空気が立ちこめて、皆、黙りがちになった。」とありますが、それはなぜですか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 今まで小型犬を飼っていたので、皆、犬の大きさに圧倒されてしまったから。
イ. 具合の悪い犬を一晩泊めてしまって、今後どうするのが不安だったから。
ウ. お母さんはもともと犬が嫌いで、犬を連れてくることに反対していたから。
エ. ネロが死んだばかりなのに、新たな犬を連れてきて後ろめたく思ったから。

問七 ⑧「打てば響くように答えた」とありますが、どのように答えたのですか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 病院の受付全体に響き渡るような、大きな声で答えた。
イ. 言いにくいことを思い切って答えるような様子で答えた。
ウ. 相手が同意してくれることを確認するような様子で答えた。
エ. 受付で言われたことに、迷う様子もなく即座に答えた。

問八 ⑨に入る文として適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. どうでしょう、入院させますか？
イ. 迷い犬だし、病院の方で何とかしましょうか？
ウ. お金もかかりますが、大丈夫ですか？
エ. 入院は、飼い主が見つかったからにしましょうか？

問九 ⑩「『お父さん……』とありますが、この「……」で、直樹はどのようなことを言おうとしたのでしょうか。考えて書きなさい。

問十 本文から読み取れるお母さんの様子を表現した熟語を、本文から五字以内でぬき出しなさい。

問十一 犬が直樹を信頼している様子の書かれている一文を本文から探し、最初と最後の五字を書きなさい。(「や。や」は一字とする。)

(国語問題終わり)

[illegible]

(A日程 二月一日実施)